

2021 年度事業報告

はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大から2年が経ったが、いまだに収束の気配が感じられない。特にオミクロン株による第6波は、感染力が従来株と比べても高く、日本では感染者がピーク時に1日10万人を超え、医療機関はひっ迫し、医療崩壊を引き起こした。医療崩壊によって、陽性となっても医療機関には受け入れてもらえず、治療を受けることができないまま多くの大切な命を奪われる結果となっている。

そのような中、医療制度改革関連法が2021年6月4日の参議院本会議で可決、成立した。2022年10月から一定の所得のある75歳以上の医療費の自己負担割合が1割から2割に変更されることになった。2021年10月12日には経団連から「今後の医療・介護制度改革へ向けて」という提言が発出され、経済成長を上回るペースで医療・介護給付費が増え続けるという前提で、患者・利用者負担増が改めて提示された。第4期医療費適正化計画、第8次医療計画、第9期介護保険事業計画が、一斉に始動する2024年度の診療報酬・介護報酬同時改定の地ならしを図る内容となっており、注視していくことが求められている。

社会福祉の分野では、2022年6月の社会福祉連携推進法人のスタートに向けて、法人認定や運用上の取り扱いに関する通知が発出された。社会福祉法人の大規模化政策の一環であり、実務などの効率化を図る側面はあるものの、公的責任から脱却し、社会福祉法人に自己責任による住民の助け合い活動を見守る役目を担わせることに本来のねらいがある点も注視する必要がある。

日本の人口は、2008年をピークに減少期に突入している。出生数の減少から20歳から64歳までの働き手人口が、今後も減少する見通しである。増えているのは高齢者人口だけであり、高齢者をケアする人材の確保が急務となっている。

平和をめぐる情勢では、憲法9条の改憲に向けた動きが一層高まりつつあり、平和主義を脅かしている。唯一の被爆国であるが、「核兵器禁止条約」へも批准しない日本は、世界からも理解されなく、「戦争する国」に進む危機となっている。2022年2月24日には、ロシアによるウクライナへの侵攻があり、多数の民間人が犠牲となっている。またロシアが核兵器を使用するという懸念を抱いている。憲法9条を守り、核兵器反対の立場を世界に示すことが、求められている。

I. 法人事業報告

1. ひまわり会の基本視点（2021年度事業計画より抜粋）

- ・みみはらグループの法人・組織とともに、子どもと高齢者が安全で安心な事業を行います。
- ・子どもや高齢者の権利を守る担い手としての職場づくりを重視します。
- ・みみはらグループとともに、地域の要求に応えうる事業所運営を行います。

2. 施設の概要 (2022年3月31日現在)

本部：大阪府堺市堺区高砂町 4-109-3 *2021.12.18 堺市西区鳳南町 5-605 より移転

ひまわり保育園：大阪府堺市西区鳳南町 5-605

ひまわりの家鳳：大阪府堺市西区鳳南町 4-476-2

ひまわりの里鳳：大阪府堺市西区鳳南町 4-476-2

訪問看護ステーションひまわりの里鳳：大阪府堺市西区鳳南町 4-476-2

ヘルパーステーションひまわりの家鳳：大阪府堺市西区鳳南町 4-476-2

ひまわりケアプランセンター：大阪府堺市西区鳳南町 4-476-2

ひまわりの家蔵前：大阪府堺市北区蔵前町 2-16-12

ひまわりの里蔵前：大阪府堺市北区蔵前町 2-16-12

訪問看護ステーションひまわりの里蔵前：大阪府堺市北区蔵前町 2-16-12

ヘルパーステーションひまわりの家蔵前：大阪府堺市北区蔵前町 2-16-12

3. 評議員及び役員の状況 (2022年3月31日現在)

評議員会 (9人)

理事会 (理事7人、監事3人)

役職	氏名	略歴及び所属等
評議員	亀田孝則	堺区地域
評議員	池田美代子	ふくいずみ地域
評議員	大西進一	元保護者
評議員	北尾一子	鳳地域
評議員	久保文子	新金岡地域
評議員	吉住とし子	みつばち保育園園長
評議員	上田喜久美	鳳保育園副園長
評議員	中野麻衣子	堺北診療所職員
評議員	石田十四子	北野田診療所職員

役職	氏名	略歴及び所属等
理事長	岡本裕宏	医師
常務理事	前田貢光	社会医療法人同仁会職員
理事	仲井さやか	保育団体職員
理事	長田大輔	ひまわり保育園園長
理事	佐々木綾子	ひまわり保育園副園長
理事	太田斉子	ひまわり会介護部長
理事	八田友	ひまわり会本部部長
監事	和田恭一	社会福祉法人コスモス部長
監事	近藤聡	泉州メディカ役員
監事	植田恒平	社会医療法人同仁会財務部長

4. 育てる会及び後援会の状況

	2020年度	2021年度
育てる会会員	103人	95人
寄付をいただいた方	102人	108人

5. 法人運営

<評議員会>

第1回 2021年6月25日 出席：評議員7人（理事7人 監事3人）

主な案件 ・2020年度事業報告、2020年度決算書類及び財産目録の承認について
・理事、監事の選任について

第2回 2022年3月25日 出席：評議員8人（理事5人 監事2人）

主な案件 ・2022年度事業計画（案）について
・2021年度補正予算（案）について
・2022年度予算（案）について
・新監事の選任について

<評議員会書面決議> 本部事務所移転に伴う定款変更

2021年12月18日 同意：評議員9人

主な案件 ・本部事務所移転に伴う定款変更について

<理事会>

第1回 2021年6月25日 出席：理事7人 監事3人

主な案件 ・評議員選任解任委員会の招集決議
・理事長及び業務執行理事の選定について
・会計責任者及び出納職員の変更について
・本部事務所移転の提案

第2回 2021年7月28日 出席：理事7人 監事2人

主な案件 ・常務部長会議報告
・保育園管理会議、介護事業所管理会議報告
・事業協同組合設立への参加について

第3回 2021年9月22日 出席：理事5人 監事3人

主な案件 ・常務部長会議報告
・保育園管理会議、介護事業所管理会議報告
・正規職員の採用について
・ひまわりの家鳳の設備投資の提案
・最低賃金の変更に伴う非常勤職員給与表の見直しについて

第4回 2021年11月24日 出席：理事7人 監事1人

- 主な案件
- ・ 常務部長会議報告
 - ・ 保育園管理会議、介護事業所管理会議報告
 - ・ 保育園屋上の修理について
 - ・ 冬季一時金について
 - ・ 介護事業所の役職任免について
 - ・ 本部事務所移転に伴う定款の変更について
 - ・ 公印管理規定の改訂について
 - ・ 上半期の経営状況報告

第5回 2022年1月26日 出席：理事7人 監事2人

- 主な案件
- ・ 常務部長会議報告
 - ・ 保育園管理会議、介護事業所管理会議報告
 - ・ 介護事業所の役職任免について
 - ・ 介護事業所の設備投資について
 - ・ 特別感謝金（見舞金）の支給について
 - ・ 処遇改善支援補助金の申請について
 - ・ 会計責任者等の任免について
 - ・ 2022年度内、税額控除対象法人の認可申請について
 - ・ 第3四半期の経営状況について

第6回 2022年3月16日 出席：理事7人 監事3人

- 主な案件
- ・ 常務部長会議報告
 - ・ 保育園管理会議、介護事業所管理会議報告
 - ・ 保育園賃金規定の変更について
 - ・ 労組、春闘対応について
 - ・ 介護事業、役職発令について
 - ・ 介護事業、就業規則及び賃金規定の変更について
 - ・ 2021年度補正予算（案）について
 - ・ 2022年度事業計画（案）について
 - ・ 2022年度予算（案）について
 - ・ 新監事候補者の推薦について

< 監事監査 >

2021年5月24日 出席：理事2人 監事3人

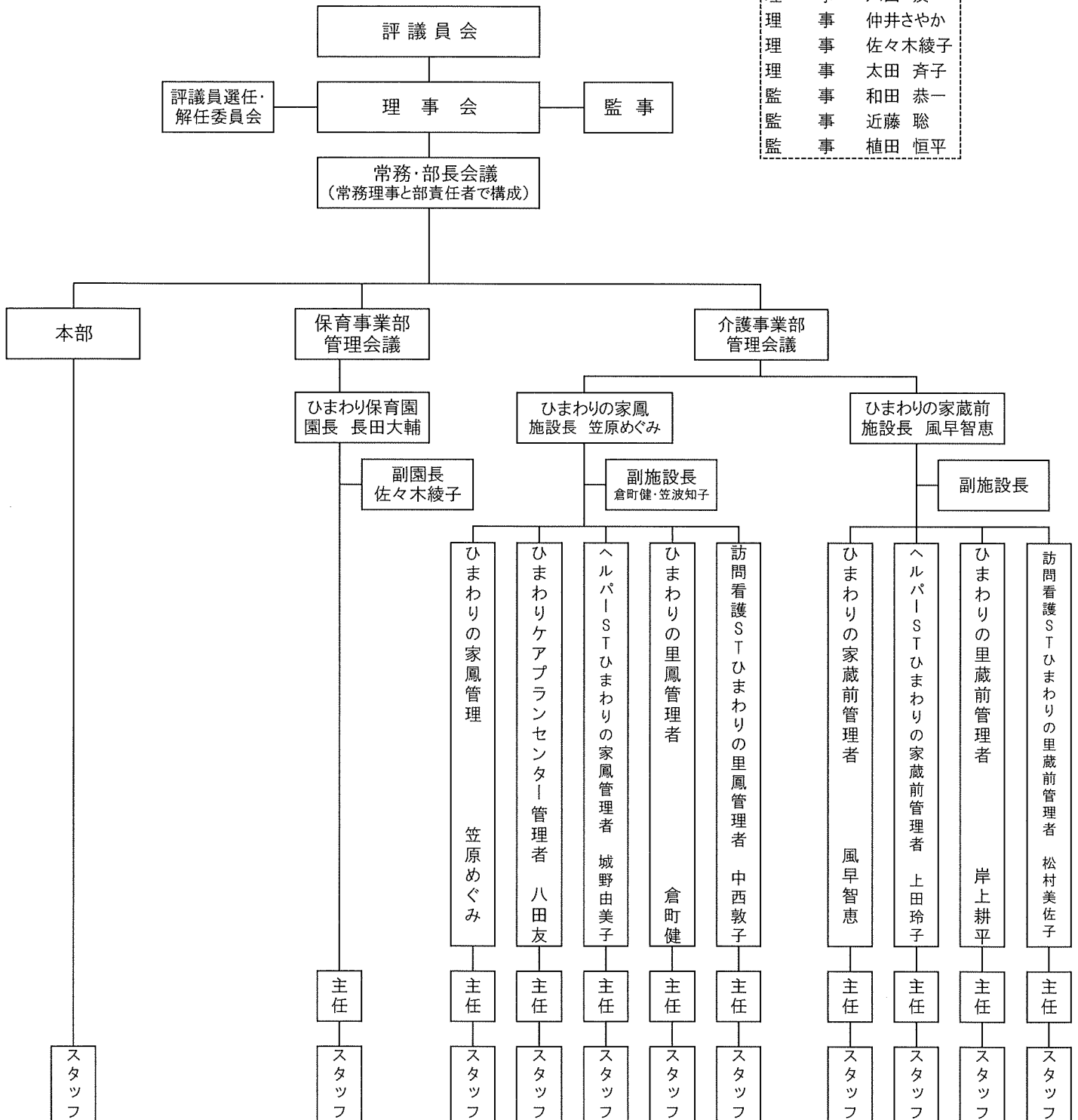
監査結果適正

6. 全体の組織図

社会福祉法人ひまわり会 組織図

2022.3.31現在

理事長	岡本 裕宏
常務理事	前田 貢光
理事	長田 大輔
理事	八田 友
理事	仲井さやか
理事	佐々木綾子
理事	太田 斉子
監事	和田 恭一
監事	近藤 聡
監事	植田 恒平



II.保育事業報告

はじめに

新型コロナウイルスの影響が続いて2年目になりました。送迎時の対応は部屋に入らず、複数で来ることを控えていただく対応を続けています。子どもたちも幼児クラスのマスク、黙食、手洗い消毒等も習慣づいてきました。また、保育でも大人数が一度に集まることを避けたり、おもちゃもその都度消毒をしたりと感染対策を実施しています。リズム運動も3歳～5歳までホールで行っていましたが、2クラスにして人数を減らしました。子どもの交流としても感染リスクを低減するためにできるだけ合同保育は避けました。縦割り保育の大事さが言われていますが、感染リスクに配慮しています。新型コロナウイルスが落ち着けば縦割り保育や合同保育等も再開していきます。

参観についても中止したり、懇談会は開催予定でしたが、まん延防止等重点措置のため中止になったりと行事についても変更や中止を余儀なくされることもありました。生活発表会は新型コロナウイルスの影響もあり、感染者が続出する中でしたので開催日を1週間延ばしました。ただ、クッキングやお当番についてはまん延防止等重点措置の間は控えるなどしてきました。感染が収まってくれることを願います。これからは保育の見える化が大事になってくるので参観や行事などはリモートでも行える環境にして保護者の方に観ていただくようにしていきます。

また、新型コロナウイルスによるクラス休園や職員の感染をオミクロン株になってから初めて経験をしました。保護者の方に「明日は休園です」と連絡をするとどうしようと悩む保護者もいたり、休園が明けて子どもが戻ってきても感染した職員はしばらく出勤できないという状況もありましたが、職員みんなの力で乗り切ってきました。

ただ、求人をかけてもなかなか人が集まらない状態です。資格者にこだわらずに保育支援員や無資格の方も体制に入って保育を回しました。人材確保については引き続き努めていきます。

職員の学習面ですが、リモートでの学習会が増えたこともあり、職員も参加しやすく行く機会が増えました。学習した内容を職員会議で返すことも行っています。学習して実践し、保育の質を高めていきたいと思います。

2. 施設運営

①児童の状況（年間児童数）

児童数	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	年間合計
4月	8名	19名	24名	24名	24名	25名	
5月	9名	19名	24名	24名	24名	25名	
6月	11名	20名	24名	24名	24名	25名	
7月	12名	20名	24名	24名	24名	25名	
8月	11名	20名	24名	24名	24名	25名	
9月	12名	20名	23名	24名	24名	25名	
10月	12名	20名	23名	24名	24名	25名	
11月	12名	20名	23名	24名	24名	25名	
12月	12名	20名	23名	24名	24名	25名	
1月	12名	20名	23名	24名	24名	25名	
2月	12名	20名	23名	24名	24名	25名	
3月	12名	20名	23名	24名	24名	25名	
合計	135名	238名	281名	288名	288名	300名	1530名

・定員120名（運営円滑化により最大132名）

・障がい児（疑い含む） ウィリアム症候群（1名） 発達遅滞（1名）

②職員の状況

正規職員（2022年3月現在）

園長	副園長	主任	保育士	栄養士	調理員
1名	1名	1名	9名	1名	1名

非正規職員

8時間保育士—5名 派遣保育士—0名 短時間保育士—8名 休日保育士—4名
短時間調理員—2名 看護師—1名 事務員—2名 保育助手—3名

正規職員の入職 0名 正規職員の退職 1名

非正規職員の入職 2名 非常勤職員の退職 2名

3. 保育事業

(ア) 午前7時30分～午後6時30分 保育標準時間

(イ) 午後6時30分～午後8時までの延長保育

○延長保育の利用 年間 150件

(ウ) 午前9時～午後5時 保育短時間

- (エ) 地域活動・子育て支援事業（2名）
 - ・あかちゃんひろば ・園庭解放
 - ・異年齢児交流事業 ・育児講座
- (オ) 一時預かり保育事業
 - マイ保育園事業 マイ保育園登録 4件
 - 乳児家庭全戸訪問事業（2名）
 - 一時預かり事業の利用 年間 15 件
- (カ) 休日保育事業（2名）
 - 休日保育 年間 148 件
- (キ) 赤ちゃんステーション事業

4. 保育内容

- ・年間保育行事・新型コロナウイルスの影響で、今年度の参観は中止や、夏祭りなどの保護者とともに行うイベントは子どもだけで行った。その他、クッキングの行事等、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出れば縮小、中止になるものも多数あった。
- ・0歳児 あかちゃん体そうが毎日の日課として取りくんでいる。・毎朝とりくんでいるリズム運動を行事として、5歳児は卒園式に「リズム運動発表会」を開催し、保護者に披露した。
 新型コロナウイルスの影響で、毎朝幼児3クラスのリズム、うたはできずにクラス単位や最大2クラスでの活動になった。
- ・お弁当を持って遠出の散歩にでかけ、自然のなかであそび、身体づくりにも取り組んでいる。
- ・4、5歳児は、身体づくりの一環として二上山に登山を行っているが、緊急事態宣言中にあたり、今年度も中止になった。
- ・運動会は密を避けるために、3歳児からの完全入れ替え制にして行った。
- ・生活発表会は2歳からの入れ替え制で行う予定だったが、まん延防止等重点措置が出たため、予行を本番にして無観客で行った。
- ・合宿については5歳のお泊り保育を泊まらないお楽しみ保育にし、冬合宿は中止にした。代替えとして3月には業者に頼んで園庭に人工雪を降らすイベントを行った。5歳児がメインだが、全クラスあそべて好評だった。
- ・4歳児は夜のお楽しみ保育で夜まで保育を行い、保護者の方にお迎えにきていただいた。
- ・4、5歳児は年間を通して太鼓に取り組み、特に5歳児は運動会、発表会などで、発表の場を設けた。・他園との3保交流は中止になり、地域活動のあかちゃんひろばや園庭開放も緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令中は中止になった。

5. 給食

- ・給食室と連携してクラスや縦割りでもできる範囲でクッキングを行った。クッキングができなくても調理工程を見ることで、「見る食育」にも取り組んだ。
- ・新メニューづくりにも積極的に取り組んだ。
- ・アレルギー児も一緒に食べられるようメニューも工夫をした。
- ・年長児のリクエストメニューを広げて全員の意見を反映させてメニューを考えた。
自分の選んだメニューは館内放送を使い、自分たちで発表した。

6. 施設管理・設備整備

① 健康管理

ア. 児童、職員の健康管理

- ・病院に行くことはあったが保育中の大きな怪我がなかった。ただ、病院に行く怪我が増えてきたので、リスクマネジメント意識を持つようにと会議での注意喚起を行った。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、手洗い、うがいの重要性をもう一度看護師が紙芝居等を使用し、子どもたちに指導をした。

イ. 職員の健康管理

- ・職員についても手洗い、うがい、アルコール消毒の徹底、体温も必ず計ることにして、少しでも体調が悪い時には休むようにした。

② 物品の購入など

- I 運動遊具
- II 絵本
- III 様々な積み木やブロックなど遊具

③ 修繕・設備など

- I 屋上の修繕
- II 電子錠修繕

④ 防災・安全対策

1. 避難訓練・火災訓練は毎月1回実施した。
2. 消防署立ち合いによる総合訓練を実施した。
3. 非常時用としてα米（わかめごはんなど）、乾パン、水、各クラス持出袋を備蓄した。

⑤ 職員研修

- I 保間研の研修オンラインに複数名参加
- II キャリアアップの研修会に参加
- III 専門家による発達の指導を増やした

⑥ 保護者からの苦情への対応

特になし。

Ⅲ.介護部門事業報告

はじめに

2021年度は管理体制の大きな変化や新型コロナウイルスへの対応など非常時に近い状況が続いてきました。そんな何かでも、大きな事故もなく経営的にも落ち込むことなく経過することができました。しかしその分、役職者をはじめ職員の負荷は大きくなっていったかと思われます。混乱は2022年度にも続いています、少しずつ日常を取り戻し、周りに目を向けることができ、新たな取り組みも進めていきたいと思えます

利用者推移

事業所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
鳳 住宅	34	34	34	35	35	35	34	34	36	34	35	34	35	35
蔵前 住宅	53	52	52	49	51	55	54	55	54	53	54	53	53	53
鳳 看多機	25	27	26	27	27	23	24	24	25	22	22	23	25	23
蔵前 看多機	29	25	25	24	30	30	25	26	26	25	24	24	26	26
鳳 HS	22	20	21	20	19	22	21	22	24	25	24	24	22	23
蔵前 HS	61	62	60	60	58	58	56	58	57	57	55	56	58	63
鳳 訪問看護	24	24	25	24	27	26	24	24	25	26	26	26	25	25
蔵前 訪問看護	46	45	47	42	39	45	41	41	42	47	43	43	43	50
ケアプランセンター	74	72	53	11	10	10	10	10	11	10	10	10	24	78

職員（2022年3月末現在）

鳳	看護職員 (夜専含む)	常勤職員	看護師 2名	准看護師 0名
		非常勤職員	看護師 8名	准看護師 1名
	介護職員 (夜専含む)	常勤職員	介護福祉士 7名	
		非常勤職員	介護福祉士 10名	その他 2名
	ケアマネ	常勤職員	1名	
	事務職員	非常勤職員	2名	
蔵前	看護職員 (夜専含む)	常勤職員	看護師 3名	准看護師 0名
		非常勤職員	看護師 18名	准看護師 2名
	介護職員 (夜専含む)	常勤職員	介護福祉士 6名	
		非常勤職員	介護福祉士 14名	その他 10名
		登録職員	4名	
	ケアマネ	非常勤職員	2名(兼務)	
	事務職員	非常勤職員	2名	
介護助手	非常勤職員	2名		
本部出向		派遣職員	1名	
		常勤職員	2名	

- サービス付き高齢者向け住宅事業

月によっては看取りによる終了者が多く、空室があるところもあったが、鳳・蔵前ともに年間を通してみると、ほぼほぼ満室となっている。

鳳では新型コロナウイルスに職員1名入居者5名が感染した時期もあり、防護服での隔離や居室配膳など感染対策に迫られたが、入居者・職員の多大な協力の下初発より3週間程度で収束した。その後も家族由来で職員にはぽつぽつと濃厚接触者及び感染者は出ているものの広がることなく来ている。しかしまだまだ油断できる状況ではなく、発熱者等が出るたびに隔離等の感染拡大予防策やPCR検査を実施するということが続いている。

全体的に看取りも多く、その分退居・入居の回転が速かった。

- 看護小規模多機能型居宅介護

年度通してみると鳳・蔵前ともに予算超過となっているが、2022年年明けごろより登録数の減少がみられており回復せず年度終了となっている。原因の分析や対応策などを早急に検討し、2022年度に向けて実施していきたい。

利用者層は、相変わらず医療度が高く介護度の重い傾向が続いている。ケアによる職員の身体的負担も大きいため、様々な福祉用具を利用して負荷の軽減を図っている。

職員では、長年定着している職員もいる反面、入ってもすぐにやめてしまう職員も一定数いて、なかなか安定しない状況となっている。特に鳳の看護師に関しては補充が急務の課題となっている。

- 訪問介護

蔵前においては、在宅でのサービスが減少してきており全体的に減少傾向となっている。鳳では昨年度より在宅への訪問を開始したが今年度中は1～2名と現状維持の状態が続いている。来年度は両事業所とも在宅部分での利用者獲得を重点課題として取り組むこととしている。

- 訪問看護

看取りが多かったこともあり、鳳・蔵前ともに奮闘している。特に鳳は厳しい看護体制の中で、新型コロナウイルスの感染拡大への対応もありながら、看取り等の対応も積極的に行っている。しかし退職者もあり看護師の補充が大きな課題となっている。

- ケアプランセンター

幹部の急な交代・組織の再編に伴い、ケアプランセンターの体制を維持することが困難となり、事業規模の縮小を行った。事業所の変更にあたっては、利用者・家族の意向に沿い、みみはらグループの事業所への移管を進めた。

来年度に向けて

コロナ禍において、地域とのつながりやイベントといったことができずに来た年度となったが2022年度は徐々にそういった側面の回復を促していける取り組みを行っていききたい。BCPの策定をするうえでも地域やグループ内での役割も念頭に置いて作成していく。

幹部体制が大きく変更になったこともあり、幹部をはじめ職員の育成に取り組む必要がある。研修に参加するなど含めしっかりと進めていきたい。また安定した職場づくり、安全で安心できる質の高いサービスを提供するうえでも、職員の確保には重点を置いて取り組んでいく。医療度が高く、重度の利用者さんの利用を進めていけるように、職員のスキルアップ、職場の体制づくりなどとともに、サービスの質の向上を目指して生産性を向上できるように多角的な取り組みを積極的に進めていく。